

安倍政権の消費税増税は暮らしを破壊

暮らしを支え、市民の 声が生きる市政の前進こそ

3月定例会市議会（2月20日から3月21日）は、一般会計予算を含む全ての市長提出議案を可決しました（新年度予算に盛り込まれた施策については2・3面を参照）。

安倍政権の悪政で、市民から

は「先々が心配」など、暮らしの大変さや将来への不安を訴える声が寄せられています。代表質問で党市議団は、10月の消費税10%への増税で、さらに深刻な事態が懸念されていることを紹介し、安倍政権の悪政を厳し

く指摘しました。また、よりたか市長が、財政健全化などの市政改革をすすめ、国民健康保険料率を据え置くなど、暮らしを支える努力を進めてきたことを高く評価。一般質問（4面で詳報）では、「あつたか市政」を前進させる立場で、課題への対応

や地域要求の実現を求めました。
書いので厳く見ない新生会・公明党
安倍政権と同じ
新生会（＝自民党系）・公明党などの発言が目立ったのが、国保料率の据え置きや敬老祝金、75歳以上無料のコミュニティバスなど、よりたか市長の暮らしを支える施策への批判でした。国保では、新生会が低所得層への負担増を要求し、敬老祝金では、公明党も早期縮小を主張。負担増と社会保障の大改悪をすすめる安倍政権と同じ立場にあることを浮き彫りにしました。



「ぷらっとわらび」の充実を

否定的な新生会・公明党

左から山脇、鈴木、宮下、梶原の各議員＝3月29日・市役所前

西ルートの逆回り増便、東・南ルートの市役所直通、駅前商店街の運行、河鍋暁斎美術館と南町3・4丁目へのルート延伸など、長年の要望だったコミュニティバス「ぷらっとわらび」ルート拡充が新年度予算に計上されました。しかし、新生会や公明党は、これを否定するような「附帯決議」を採択。日本共産党は反論しました。（2・3面参照）

12年間の成果を土台に未来への飛躍

よりたか市長の施政方針

よりたか市長は施政方針で、「あつたか市政」には、暮らしを支える、市民と心が通い合う、の2つの思いを込めたと強調し、県南地域でいち早く実現した中学卒業までの医療費無料制度や市独自の35人学級、特養ホームの整備など、12年間の実績を紹介しました。また、「飛躍のための体力をつけてきた12年」だったと述べ、財政健全化が進んだ

ことを紹介（2018年度末の借金総額は297億円、市長就任時の363億円から66億円削減）。「あつたか市政」第2ステージとして、3大プロジェクト（超高齢社会に対応したまちづくり、蕨の玄関口にふさわしい蕨駅西口再開発、市庁舎整備）を推進し、魅力的で住み良い蕨の未来を創造する決意を語りました。

日本共産党蕨市議団ニュース

3月市議会報告

2019年4・5月号

事務所 TEL 443-8332 FAX 444-6531

市議会議員

鈴木 智 ☎444-6957 山脇紀子 ☎446-3129
梶原秀明 ☎447-1928 宮下奈美 ☎211-0922
ホームページアドレス
<http://www.jcp-warabi.jp> JCP 蕨 検索
メールアドレス info@jcp-warabi.jp

2019年度 市民の願いが反映した予算が成立

安全安心のまちづくり

◆蕨駅のホームドアの設置

18年9月から仮囲い等工事に着手。19年度中の供用開始を予定している。

◆市役所庁舎建替えにむけて

市役所の建替えと現庁舎解体のための設計を、19年度・20年度の2カ年で実施。新市庁舎の供用開始は23年度後半の見込み。



現在の市役所庁舎。今年度は建替えに向けた計画が進められています

◆水害対策への啓発として、電柱に予想浸水深と避難所を掲示

電柱100本に、荒川氾濫時に想定される浸水の高さや避難所を表示。

みんなにまただからまちづくり

◆国民健康保険税率を据え置き

市民のくらしを守るため県内で一番安い保険税にすえおき。

◆川口市内に開設される障がい者入所施設へ運営補助

南部圏域の新規開設入所施設に入所を希望する市民への支援の安定を図るため重度知的障がい者入所施設費補助金を創設。1人月4万円、最大60か月、施設に補助。

◆介護保険

○市内4カ所目の特別養護老人ホーム「レーベンホームわらび」へ用地確保奨励金を交付○定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業スタート。

◆病児・病後児時保育室「にじのへや」を中央3丁目に4月に開設。定員17名の小規模保育室を開設



◆保健センター内に、子育て世代包括

支援センターを開設

◆民間留守家庭児童指導室を中央7丁目に開室

◆就学援助の拡充

入学準備金を増額し、小・中ともに入学前支給を実現。

◆35人学級の対象は、西小4年、中央小4年、中央東小4・5・6年、塚越小3年の計6つの学年

◆川口市内に開校する夜間中学校に運営負担金を支出

◆市立病院の経営健全化推進 耐震化と老朽化対策のため、建替えを含めて総合的な検討を行う。

快適なまちづくり

◆コミュニティバスのルート拡充

◆中央公民館と西公民館にエレベーターを設置

◆市制施行60周年記念事業を実施（記念式典やテレビ公開録画等）

◆住宅リフォーム助成制度

利用者が多く好評のため継続（工事費の5%、上限10万円を助成）。

3月議会での論戦から

国保

社会保障の役割否定

負担増求める新生会

代表質問で新生会は、蕨市が国保税を抑えるために国保会計への繰出金を維持していることを批判し、「(低所得者が) 相応の負担をするのが筋だ。そうでないと高額(所得)の人ばかりに負担がかかる」などと発言しました。これは、退職した高齢者など、医療費がかかり所得の少ない市民が多く加入する国保の構造的問題を無視し、社会保障の役割を否定するもの。国庫負担を減らしてきた国の責任には一切触れていません。全てを市が負担するのは不可能ですが、国保税率を据え置いてきた努力は、

市民の暮らしを支える「あったか市政」の成果です。

コミュニティバス

ルート拡充否定する

新生会・公明党に反論

附帯決議は、「総合的な交通政策」の報告書を作成し議会に報告するまで、ルート拡充部分の予算執行を停止するよう求めるもので、実施を延期させかねません。新生会・公明党は「市民の多くが望んでいるものとは言い難い」「重要度は低い」

ルート拡充に否定的な「附帯決議」に賛成した会派議員

新 生 会	古川 歩
	大石 圭子
	保谷 武
	前川 やすえ
	小林 利規 ※
公 明 党	三輪 かずよし
	池上 智康
	比企 孝司
	今井 良助
	高橋 悦朗
	大石 幸一
	松本 徹

敬称は略
※議長(当時)のため採決に加わらず。
一関和一議員(立民)は退席。

などと述べ、立憲民主党も「税金のムダ使い」と発言するなど、市民の願いを否定しました。

「コミュニティバスは市民の願い・蕨の魅力

これに対し、日本共産党は、「逆回りの運行を」「市役所など行きやすく」「自転車にも車にも乗れない市民にとっては切実な願い」など、市民の声を紹介。ルート拡充は長年にわたる市民の願いであると強調し、「新たなまちの魅力にもなる。予算どおり執行すべき」と主張しました。

「コミュニティバスは、利便性や活性化などのために、各地の自治体が、必要な経費を支出して運行しているものです。

蕨でも、高齢者、障がい者、子育て中の方など、幅広い市民が利用する移動手段であり、7歳以上の高齢者などが無料で利用できる制度は喜ばれています。また、外出機会が増え、市民の健康づくりや社会参加に貢献。環境にやさしいまち、蕨の魅力づくりにもつながっています。年間利用者は約20万人。市民体育館(約15万人)や市民会館(約14万人)と比べても、市民の利用は少なくありません。

長年の市民要望に応えた今回の提案は、財政健全化を進めてきた市長が、経費は十分に賄えるとの見通しのもとに提案したものです。



悩み・困りごとは
日本共産党にご相談ください

事務所 ☎443-8332 FAX444-6531



鈴木さとし



やまわき紀子



梶原秀明



宮下奈美

大混乱の最終日 事実を明らかにすべき

議長が議員を負傷させたことされる事案で、最終日(20日)の議事は混乱。議長は辞任し、閉会は翌日未明にずれ込みました。議会での「暴力行為」となれば大問題、事実の解明が必要ですが、後日、両議員が所属する新生会から双方に処分を科した旨の報告がありましたが、事実関係の説明はありませんでした。

大規模水害時の避難

鈴木 大規模水害時の避難方法がわからない市民も多い。大規模水害を想定した防災対策は。

市民生活部長 ハザードマップによる啓発やインフラ整備などを行ってきた。今後は、自主防災会での大規模水害を想定した訓練実施へ支援、情報提供したい。

鈴木 大規模水害時の想定浸水深を電柱に表示するのに合わせ、地域ごとに避難方法など周知すべき。市民生活部長 (表示で) 地域の浸水状況を視覚的にとらえ、自主防災会・個人単位で避難行動計画を策定し、訓練を重ねてほしい。市としては、情報提供や相談などで地域に合った対応方法を伝えたい。

図書館の整備に市民の声を

鈴木 再開発・公共公益施設の図書館で、現在と同等の機能を果たすために必要な床面積見込みは。

教育部長 同等の機能を備えるには1200㎡以上必要。公共公益施設は行政センターと図書館で2000㎡〜2200㎡を計画。

鈴木 再開発事業は権利者や市民との合意形成を丁寧に進めることが大前提。その上で言うが、戸田市の行政センターは200㎡程度であり、駅前の新図書館では一定の機能拡充が期待できる。市民要望をいかし検討してほしい。 ※他に、避難時要支援者への対策、青年の居場所づくり、コミュニティスクールの課題など質問。



生活相談などお気軽に

鈴木さとしのプロフィール

- 市議4期、党市議団長、総務常任委員会委員、党市委員長 ●家族は、妻と子3人
- 中央5-9-7 ☎444-6957
- 主な活動地域 塚越2・3・6・7丁目、中央1・3・4・5丁目
- @suzuki719、フェイスブックでも発信中

市民の願うまちづくり市政に 議会等で要望し実現・予算化

コミュニティバスのルート拡充 議会で繰り返し市民要望を伝え、「逆回り」「塚越・南町から市役所への直通」「商店街をルートに」など具体的に提案(詳細は一面及び2・3面で紹介)。

障がい者入所施設(川口)へ運営補助 障がい者入所施設を繰り返し要望。同時に、近隣で開設予定の施設も支援し、入所環境を整えるべきと提案(2・3面)。

高次脳機能障害への支援 昨年3月の一般質問で相談会などを提案。今年2月に第1回を開催。蕨駅へのホームドア設置 17年2月、梅村衆院議員(当時)や障がい者団体と一緒に、JR大宮支社へ早期設置など要求。市長なども働きかけ、当初予定より1年早く供用開始(2・3面)。



2019年度中のホームドア設置が計画されている蕨駅

日本共産党市議団の一般質問項目

やまわき紀子議員

- ◆市民が待ち望んでいる「コミバスのルート拡充について
- ◆子育てするならわらび」待機児童ゼロの取り組みを
- ◆学校トイレの洋式化の推進を
- ◆福祉入浴券の拡充を
- ◆公園・道路の適切な維持管理



梶原秀明議員

- ◆高い国民健康保険料は全国的な問題。新生活会(＝自民系)が、低所得者をもっと負担すべきと代表質問したがとんでもない。蕨市の安い水準を維持してほしい
- ◆来年4月から始まる会計年度任用職員制度。現在の労働条件の確保を求める



宮下奈美議員

- ◆あらゆる暴力の根絶を目指す取り組みを
- ◆就学援助制度・小学校入学前支給の検討状況と金額引き上げの考え等について
- ◆子ども医療費支給制度について
- ◆受動喫煙対策について



◆市民が待ち望んでいる「コミバス」のルート拡充

【山脇】コミュニティバスの意義や目的はどうか。

【市長】高齢の方をはじめ、障がいのある方や子育て中の方など幅広い市民の皆さんの移動手段として、健康づくりにも役立ち重要な役割を担っている。また、環境に優しい町づくりや蔵の魅力づくりの向上に資する事業となっている。

【山脇】コミバスのルート拡充を否定する他会派が言っているデマンド交通を蔽に導入した場合のデメリットはなにか。

【部長】経費一人当たりの単価が高くなる（コミバス一人当たり190円、デマンドバス一人当たり1100～1900円）、利用者



やまわき紀子のプロフィール

- 1972年わらび生まれ、わらび育ち。
- 現在、市議5期、教育まちづくり常任委員、原水爆禁止蔵市協議会副会長。中学・高校PTA役員など歴任。
- 住所 南町2-31-14 TEL・FAX446-3129
- 主な活動地域は、南町全域。

困りごとや市政への要望など
ご相談お受けしています

f フェイスブックでも情報発信中

の要求にすべて応えられない等があげられる。人口が同じ志木市での導入例を見ると利用者が限定的となり年間4万5千人（コミバスは20万人）しか利用がない。

【山脇】ルート拡充に向けた検討状況やスケジュールはどのようか。

【部長】●西ルートの逆回り運行●市役所や市立病院へのアクセス向上●中心市街地活性化の一助として駅前通りの運行●河鍋暁斎記念美術館付近のバス停の新設と南町3・4丁目へのルート延伸を基本的考え方として、運行業者や警察等の関係機関と協議を進めている。12月の運行開始を目指す。

◆「子育てするならわらび」待機児童ゼロに向けた取り組みを

【部長】今年4月に病児・病後児保

育施設を併設した定員17人の小規模保育園を開設し、低年齢児の受皿拡大を図る。今後も認可保育園の整備を中心に待機児童ゼロを目指す。

◆学校トイレの洋式化の推進を

【部長】引き続き、実施にむけ財源確保に努める。

◆福祉入浴券の拡充の検討をすすめてほしいがどうか

【部長】戸田市中町「一の湯」へ協力依頼を行い、利用施設の拡充に努める。

三和公園横の雨水桧改修が実現



新年度予算にもりこまれた地域要求

- コミバス南ルートの南町3・4丁目へのルート延伸と市役所への直通
- 南小学校区内に民間学童保育室を設置（中央7丁目）
- 舗装道補修（グリーンハイツ東側）・下水道管路改修（特養南側校並木道路他4カ所）
- まつの木公園の園路整備工事
- 大荒田交通公園の樹木剪定等

日本共産党市議団の一般質問項目

鈴木さとし議員

- ◆災害時の要支援者対応、水害時の地域別避難計画の周知などの防災対策について
- ◆図書館の整備・拡充へ市民の声を
- ◆青年の思いをいかした市政運営
- ◆コミュニティスクール、川口に開設された夜間中学の意義・課題など



宮下奈美議員

- ◆あらゆる暴力の根絶を目指す取り組みを
- ◆就学援助制度・小学校入学前支給の検討状況と金額引き上げの考え等について
- ◆子ども医療費支給制度について
- ◆受動喫煙対策について



梶原秀明議員

- ◆高い国民健康保険税は全国的な問題。新生活会（自民系）が、低所得者をもっと負担すべきと代表質問したがとんでもない。蔵市の安い水準を維持してほしい
- ◆来年4月から始まる会計年度任用職員制度。現在の労働条件の確保を求める



国の責任で国民健康保険税の引き下げを

梶原 日本共産党は昨年11月、「高すぎる健康保険税を下げ、住民と医療制度を守ります」を発表した。高すぎる国保が全国的な問題となり、全国知事会も国が1兆円の公費を投入すべきと要望を出している。蕨市が県内で一番安い水準に新年度もおさえたことは高く評価するが、国保の構造問題を解決するには、国政を変える必要がある。所得に占める税の負担はどうか。

部長 所得に占める被保険者一人当たりの保険料(税)の負担は、国保は10・0%、協会けんぽ7・5%、組合健保5・8%で、市町村国保の負担は他の保険より高い。

梶原 (低所得者ももっと負担せよとの趣旨の新生会の) 代表質問があったが、

所得500万円での負担率は9・2%、100万円では11・8%にもなる(新生会の議論は間違っている)。

部長 国保には応益割があるため、低所得者ほど負担が重くなる。

非常勤職員の労働条件改善を

梶原 来年4月から会計年度任用職員制度が始まる。本来常勤職員で担われ

るべき自治体業務に、非常勤職員をあてることを常態化させるとの批判がある。2017年5月の法案審議で、日本共産党は反対した。①本市の非常勤職員の実態、制度移行の見直しはどうか。②労働条件の確保をすべき。

部長 ①特別職は介護認定審査員6人、臨時的任用職員は、市長部局258人、教育委員会76人、病院75人、他1人の計410人。移行するのは410人を見込む。②大半の人がおおむね継続(再任)できると見込んでいる。労働条件の確保に努める。

予算化された主な地域要望

○道路補修 (北町2丁目17番・北小通り)

(写真上)、塚越4丁目JIR変電所の5丁目側)

○指定文化財・一本杉

(北町1丁目)を2代目に引き継ぐ

○緑川(塚越5丁目)に架かる3橋を改修 (写真中上)

バスルートの拡充は市民の願い

塚越から市役所直行使を(写真は東公民館)



消費税10%は中止を



消費税10%は中止させよと訴える梶原市議(右・蕨駅東口)

日本共産党市議団の一般質問項目

やまわき紀子議員

- ◆市民が待ち望んでいる「コミバスのルート拡充について」
- ◆「子育てするならわざわざ」待機児童ゼロの取り組みを
- ◆学校トイレの洋式化の推進を
- ◆福祉入浴券の拡充を
- ◆公園・道路の適切な維持管理



鈴木さとし議員

- ◆災害時の要支援者対応、水害時の地域別避難計画の周知などの防災対策について
- ◆図書館の整備・拡充へ市民の声を
- ◆青年の思いをいかした市政運営
- ◆コミュニティスクール、川口に開設された夜間中学の意義・課題など



宮下奈美議員

- ◆あらゆる暴力の根絶を目指す取り組みを
- ◆就学援助制度・小学校入学前支給の検討状況と金額引き上げの考え等について
- ◆子ども医療費支給制度について
- ◆受動喫煙対策について



相談はいつでもいつでも



●市議4期、環境福祉経済常任委員会委員長、中小企業診断士●主な活動地域：北町、塚越1・4・5丁目●Tel/Fax：447-1928
ホームページ：jcp-warabi.jp
メール：kajiwara@jcp-warabi.jp
@KajiwaraHideaki

宮下奈美議員の一般質問

あらゆる暴力の根絶を
目指す取り組みを

今議会では、「暴力の根絶を目指
す取り組み」としてDV、児童虐
待について、受動喫煙対策として
受動喫煙症などへの対応、就学援
助制度では、入学準備金を増額し、
小・中学校に入学前支給を実現し
たことなどを取り上げました。

特に、暴力の根絶を目指す取り
組みについては、性犯罪・性暴力
の問題とあわせて詳しく質問。暴
力がなぜ起きてしまうのか、あら
ゆる暴力の根絶を目指して、どう
いう取り組みを行うのか、また、現
在行っているのか、確認を含めて
要望もしました。

これまで市議会で
要望し、実現したこと

犯罪被害者支援窓口設置

(性)犯罪に遭ってしまった人な
どから実際に聞いてきた声を紹介
し、相談の場が必要だと市議会で
度々要望。市民活動推進室に相談
窓口が設置されました。



市役所一階に設置された相談窓口

宮下 奈美のプロフィール

- 1976年生まれ、わらび育ち。
- 現在、市議1期、環境福祉経済常任委員会委員、衛生センター組合議会議員、消防委員、蕨市国際交流実行委員。小学校PTA会長など歴任。
- 住所 錦町5-1-8 TEL 211-0922
- 主な活動地域は、錦町全域、中央2・6・7丁目

困りごとや市政への要望など
ご相談お受けしています

フェイスブックでも情報発信中

わらびりんご通りの
安全対策・看板設置など

区画整理後、広くなった道路で、
児童の登下校時、車がスピードを
出して危険でした。学校長やPT
Aのお母さん方と一緒に警察へ信
号をつけてほしいと要望に行きま
した。また、市議会でも、車のス
ピード減速を促す工夫も提案。自
らも登校時、旗振りをして子ども
の安全も見守りました。



「とびだし注意！」の路面標示を設置



PTAのお母さんが提案してくれて、
市議会で取り上げた子どもの形をし
た看板。去年12月に設置完了。早期
の対応に喜びの声があがりました。

日本共産党市議団の 一般質問項目

鈴木さとし議員

- ◆災害時の要支援者対
応、水害時の地域別
避難計画の周知など
の防災対策について
- ◆図書館の整備・拡充へ市民の声を
◆青年の思いをいかした市政運営
◆コミュニティスクール、川口に開設され
た夜間中学の意義・課題など



やまわき 紀子議員

- ◆市民が待ち望んでい
るコミバスのルート
拡充について
- ◆子育てするならわ
らび「待機児童ゼロの取り組みを
学校トイレの洋式化の推進を
福祉入浴券の拡充を
公園・道路の適切な維持管理



梶原秀明議員

- ◆高い国民健康保険税
は全国的な問題。新
生会（N自民系）が、
低所得者をもっと負
担すべきと代表質問したがとんでもない。
蕨市の安い水準を維持してほしい
◆来年4月から始まる会計年度任用職員制
度。現在の労働条件の確保を求める

